

図書館通信

3月の催しもの

★本を借りてゲームに挑戦！★(※先着30名)

「ひなまつりでジャンケンポン」

日時:3月3日(土) 9:30~11:45

場所:図書館1階カウンター付近

内容:ひな人形とジャンケン対決。

運試しジャンケンポン!

※本を借りてゲーム挑戦券をもらおう!

★しょうちゃんと遊びま専科★(※要申込)

「しょうちゃん流ハンドスピナーで遊ぼう！」

日時:3月31日(土) 14:00~15:00

場所:図書館2階企画研修室

募集:20名(子どもも大人も参加OK!)

※小学校低学年以下は親子参加でお願いします。

内容:折り紙でしゅりけんを作ったら、パッチンボタンでハンドスピナーに大変身!!

ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館「いっとくん」

@ittokun_ichikai



✿企画コーナーが春らしく!✿

ヤングアダルト(YA)コーナーが入れ替わったよ!
4月から中学生のキミ、YAコーナーから読書デビューしてみない?

その他、春色の本を集めたコーナー、メディア化作品、お弁当コーナー、DIY企画など盛沢山!
春、新しいこと始めよー♪♪



いっとくんオリジナル缶バッジをGETせよ♪

今回のテーマは「春分の日」

配布期間:3月17日(土)~21日(水)

★本を借りに来てね!なくなり次第終了だよ★

お問合せ先:市貝町立図書館 ☎68-4380



図書館カレンダー

(■...休館日)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

利用者アンケートありがとうございました

実施期間：平成30年1月4日～31日



利用者アンケートにご協力ありがとうございました。たくさんの貴重なご意見や要望については、今後、図書館運営の参考にさせていただきます。

また、自由記入欄のところでは、嬉しいコメントを頂いたので何点かご紹介していきますね。

☺ イベント等よく創意工夫されていて、利用拡大に努めておられるようなので、今後も期待しております。
(一般・男性・市貝町)

☺ いつも展示が工夫されていて楽しいです。おすすめの本など、ふだん手にとらない本が紹介されていて、参考になります。
(一般・女性・茂木町)

☺ 小説を増やしてほしいです。手芸の本も増やしてほしいです。(小学生向け)構図集・ポーズ集があるとうれしいです。
(小学生・女性・益子町)

☺ ゆっくりしていて、時間を忘れてしまいます。カウンターの人達も感じが良く、イベントがたくさん有り楽しい(大人も参加できて)、缶バッジがたくさん貯まり、ついつい嬉しくなりました。
(一般・女性・芳賀町)

図書館からのお願い



春らしい暖かい季節となってきました。

利用者の皆さんには、いつも図書館の資料や、施設を大切に利用して頂き、スタッフ一同感謝しております。

その中で、最近、気がついた事があります。

読み終わった図書が、ベンチや棚に放置されているということです。特に、土日によく見られます。読み終わったら、必ず元の場所へお願いします。



もし、本をしまう場所がわからないときは、スタッフに声をかけてください。

また、入館の際には、必ず靴の泥を落として頂くようお願い致します。

これからも、皆さんが、気持ちよく図書館を利用できるように、ご協力をよろしくお願い致します。



スタッフのおすすめ本



新生活を新たな環境でスタートされる方もいらっしやると思います。今月は伝え方で人生が変わるかもしれない実践、役に立つ一冊のご紹介です。



会社員、友達知人の付き合い、恋人関係まで幅広い人間関係で人をお願いする時、特に何も考えず、自分の思いを伝えていませんか？この本で紹介されている7つの切り口を使えば、お願いを聞いてもらえる確率がアップします。直接的に言うのではなく、相手の立場に立ち伝えること。コミュニケーション力を鍛え人間関係をさらにアップさせましょう！普段から使えることが詰まっています。ぜひ、ご利用ください。

しょうちゃんのひとりごと



昨年末の出来事だった。16年という長い間飼っていた愛犬ミニチュアダックスフンドの「マーティー」(犬の名)が、亡くなったのだ。3日ぐらい前までは餌を食べていたが、以後少しずつ食欲がなくなり、その日の朝起きると冷たくなっていた。医者からは齢だから待つ外ないねとは言われていたのだが……。

当時、子どもたちと一緒に育てていたが皆結婚をし、家で面倒を見ることになったのである。でも、子や孫が帰省するたびにマーティーのところへ直行し、みんなに可愛がってもらい家族同様の心のつながりや絆を大切に育ててきた。しかし、今「うちに来てこの子は幸せだったんだろうか？」「最後には苦しまなかったらどうか」「もっとこうしてあげればよかったかな」と、後悔の念でいっぱいになった。訃報の連絡をみんなにすると、LINE子や孫が夜遅くまで思いで話を続けていた。別れはとても辛く、淋しさがひしひしと伝わってきた。あのぬくもり、眼差し、それをこの目でこの手で確かめることはできなくなった。毎日の時間の流れに身を任せ、仕事や趣味で悲しみから気を紛らわせながら、心を落ち着かせていこうと思うだけである。

合掌……。